

いきかばい

No. 62

令和5年1月号

発行 / (公社) 周南市シルバー人材センター 山口県周南市桜木三丁目 1-3 ☎ 0834-25-6262 編集 / 広報等編集委員会 印刷 / 大村印刷

謹賀新年



長田海岸からの日の出



動物園駐車場で就業中「ぜひおいで下さい」
瀬田正勝さん・三浦育雄さん・山田秀登さん・出射賢治さん



撮影者 村田明さん

ご挨拶



兎は飛躍のシンボル (遠石八幡宮大絵馬)

新年あけましておめでとうございます。
皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと謹んでお喜び申し上げます。
まだまだ新型コロナウイルス感染症の収束は不透明ではありますが、会員並びに役員の皆様のためにもご努力とご協力を賜り、堅調な事業運営をおこなうことができたこと、心から厚くお礼申し上げます。
振り返りますと昨年は、ウィズコロナ時代の中、感染防止対策を図りながら事業の推進に取り組んだ挑戦の年であったと感じています。



飛躍・向上の年に

理事長 大田 良充

催し事としては山口県シルバー人材センター主催のシルバーフェスティバルが開催され、県内全域のセンターが集い、当センターからも「手芸部」による出展・販売や会員の米本豊弘さんによる漫談で会場は大いに盛り上がりました。(P5参照)
また、全国シルバー人材センター事業協会から姉崎専務理事をはじめ、藤井事務局長が視察、協議に来所されました。
当センターは昨年度、会員増加率が全国千三百センター中百位以内であったことや、女性会員の比率が全国的にも高いなど、事業運営に対して大変な関心を寄せていただいたところです。
今後、労働人口が減少する中、女性の社会参画や高齢者の活躍はますます期待されており、またことから、昨年新設した「夫婦会員制度」をはじめとする新たな取り組みを行うことにより、



よろしく
お願いします

理事長
副理事長
常務理事
兼事務局
理事

充志夫
良州達
大田八重
大宮森

恵夫子
久重悦
敏 睦
淳 顕
部 藤谷
阿加河
神酒水
友光村
河田員

監事
事務局職

活気あるセンターづくりを目指して参りたいと思います。
さて、本年は「兎年」です。愛らしい姿で親しまれています。が、厳しい動物の社会の中で決して強い動物ではありません。その兎が今日まで長く種として栄えているのは、長い耳に象徴される周囲の状況を把握し、危険を察知する能力、即ち情報収集力に長けているからではないかと思えます。
加えて情報が氾濫する現代では、情報収集だけでなく、その本質を見分ける能力、またそれ

を活用し、次へ展開する能力も求められています。
センターを取り巻く環境は今後大きな転換期を迎えます。インボイス制度やフリーランス保護新法等の制定は、少なからず運営に影響するものと思います。卯年の年頭に当たって、情報選択力と活用力を高めること、即ち状況を把握し、次への展開を図っていくこと、これを今年目標としたいと思います。
また兎の跳躍力は飛躍、向上の象徴でもあることから、会員及び役職員の連携のもと、組織の整備充実を図るとともに、センターの一層の飛躍向上を目指し事業の推進に努めて参ります。
新春にあたり、会員の皆様のご健康ご多幸をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

新年の



市民に寄り添う

まちづくり

周南市長 藤井 律子

新年あけましておめでとうございませう。

公益社団法人周南市シルバー

人材センターの皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、平素より、市政運営に

格別のご理解とご支援をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

さて、少子高齢化が急速に進展し、労働力人口の減少が進行する中、健康で働く意欲のある高齢者が生涯現役として活躍できる場の創出が社会全体で求め

られています。

こうした中、周南市シルバー人材センターにおかれましては、基本理念「自主・自立・共働・共助」のもと、強い志と、正しい行動力を持って、地域社会の担い手として活力ある高齢社会の構築に貢献されておられますことを大変心強く思っております。

昨年は新型コロナウイルス感染症に加え、ウクライナ情勢に端を発した原油価格・物価高騰

等により先行き不透明な経済情勢ですが、市といたしましては適時適切な対策を講じながら活力のあるまちづくりに引き続き取り組んでまいりますので、本年も、市政への変わらぬご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



「すべては周南市民のために」をテーマに

周南市議会議長 土屋 晴巳

新年あけましておめでとうございませう。

公益社団法人周南市シルバー人材センターの皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。昨年は、新型コロナウイルス

感染症が拡大してから3年目となり、引き続き活動が制限されるなど大変ご苦労が多かった一年であったことと拝察いたします。そのような中、皆様方の創意工夫により困難を乗り越え、活動を継続いただきましたことに、重ねて感謝を申し上げます。

さて、周南市は、本年4月21日に、20周年という節目を迎えます。これまでの歩み・軌跡を振り返りますと、合併してから20年で、大きく成長したと感じる次第であります。

私ども市議会におきましても、歴代議員の諸先輩方が積み上げてきた、豊かな歴史を持つ4つのまちが合併し、それぞれの良さを活かしながら、さまざまな課題を乗り越えながら、邁進してまいりました。

議長に就任し間もない私ではありますが、これからも市民の皆さまの負託にしっかりと応えられるよう、全力で職責を果たしてまいりますので、本年も変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、周南市シルバー人材センターの更なるご発展と会員の皆様のご健勝・ご多幸を心から祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

報告 センター活動 ただいま再活性化中!

例年秋は、さまざまな行事やイベントが開催される時期ですが、ここ数年、コロナ禍による自粛や縮小が続いていました。しかし、感染防止対策を図りながら、事業推進の両立が求められる中、新たな事業への取り組みもあり、センター業務は再び活性化の兆しをみせています。

昨年秋のこうしたいくつかの取り組みについてご報告します。

その1 事故を防ぎましょう 安全パトロール

「安全はすべてに優先する」を合言葉に、毎年市内各地区で実施している安全パトロール。

縮小された年もありましたが、昨年秋季は徳山、新南陽、鹿野地区で例年通り安全適正就業委員会の委員が、作業現場を訪問し、安全チェックを行いました。(熊毛地区は当日雨のため中止)。訪問したのは公共施設や公園、個人宅などの草刈りや剪定の現場で各地区2か所づつ。

草刈りや剪定はセンターの主力業務ですが、傷害事故や賠償事例が発生しやすいのもこの業務です。



草刈りの手順を確認 (新南陽地区)

委員は、まず作業別の安全点検実施表などに基づき、作業手順や、体調管理、機械や装備の点検、事故防止対策等を確認。また現場の状況や作業の様子を視察し、会員への聞き取り調査も行いました。

点検結果は概ね良好でしたが



作業前の点検は何より大切 (徳山地区の剪定)

一部、脚立の安全確保や保護装備について改善すべき点も見受けられ、また会員からも、草刈機の飛散防止対策などで提案もありました。

この結果は委員会に報告され、今後、委員や事務局、会員の皆さんと共に適正な対策を検討し、改善に努めていきます。

これから一年で最も寒い季節。体も動きにくくなり、日が短く火を使う機会も多くなります。

就業時はもちろん、行き帰りの交通事故や健康管理にも留意して、安全で健康に冬を過ごしましょう。

その4 農園だより じゃがいも掘りました

企業による障がい者雇用の取り組みとして注目されている農園づくり。日本ゼオン(株)ではこの運営にあたる障がい者就労施設を開設しており、前号でも報告したとおり、当センターもその取り組みに一役買っています。

農園は社員寮の遊休地であり、土作りに始まって、現在、冬の野菜がすくすくと生育中。12月6日に開催されたじゃがいも掘りイベントには、山口放送が取材に連れられ、その様子は当日、ニュースとして放映されました。



111kgのじゃがいもが穫れました

また、この取り組みはシルバークの新規事業としても関心を集め、9月28日には全国シルバー人材センター事業協会

その3 手芸部も参加して 県シルバーフェスティバル

10月21日、山口市のKDDI維新ホールに県内の全センターが集い、公益社団法人山口県シルバー人材センター連合会設立25周年記念のシルバーフェスティバルが開催され、当センターからも手芸部の皆さんはじめ多くの方々が参加されました。

フェスティバルでは、各センターの活動発表のほか、辛坊治郎さんの、自身の貴重な体験や時代を読み解く講演があり、また会員発表会で登壇した当センターの米本豊弘さんの「きみまる」ばりの漫談は会場を大いに湧かせていただきました。

また会場には活動発表コーナーが設けられ、手芸部の皆さんも丹精込めた作品の展示や販売に大忙しでした。

他センターとの交流や活動発表、作品展示に大いに刺激され、今後の活動に一層拍車がかかりそうです。



丹精込めた作品を展示・販売

その2 街をきれいに ボランティア清掃

地域に貢献する活動として親しまれているボランティア清掃が、今年も多くの会員の皆さんの参加により、各地域で開催されています。

鹿野地区は11月24日、徳山地区は12月9日に行われ（12月4日の富田・福川地区は雨のため中止、和田地区は12月21日の予定、駅周辺や国道沿いはすっきりきれいなりました。中でも徳山地区の岐山通りの銀杏の落ち葉の清掃

は初冬の風物詩ともなっています。参加された皆様、お疲れさまでした。なお、熊毛地区は1月20日、戸田地区は1月31日開催の予定です。



皆さんお疲れさまでした（鹿野地区）



岐山通りのイチョウ葉は一段とキレイに（徳山地区）

その5 連携を深めよう 地域班長会議

の姉崎専務理事が視察に來られました。現地では、日本ゼオン(株)の担当の方から事業の経緯や取り組みの様子を伺い、作業を見学。その後当センターで、全国のセンターの状況や事業開拓等の課題について協議・懇談しました。

10月13日、地場産業振興センターに地域班長さん方が集い、2年ぶりに地域班長・役員合同会議が開催されました。会議では、健康づくりの講演の後、班長の役割やセンターの現状、地域での会員の繋がりを深めることを目的とする地域懇談会の開催などについて協議が行われました。



地域での繋がりを深めるには...

の広場

車の運転

やめました

野崎 昭枝



古い古くい話になりますが、結婚して十年経ったころだったでしょうが、主人が車を置いて単身赴任することになりました。そのことで私は、運転免許を取得することになったのです。

その後、主人が早くに逝ってしまったので、結果として運転できるということはとてもよかったですと思っています。

当時の車はトヨタマークII。とつても大きな車です。でも若かったんですね、子供たちを乗せて何度も九州をドライブしました。夜、高千穂峠をけっこのなスピードで走り抜けたのですが、あくる朝、同じコースを戻ったときに「こんなに狭くて曲がりくねった道だったの〜！」と背筋が凍る思いをしたこともあり、また。幸いにも、その車での唯一の事故といえは、

バックのときに電柱にぶつたくらいで、大きな事故はありませんでした。その後、車は何台か変わりましたが事故はなく、ほとんどの期間、「ゴールド免許」でやってこれました。あえて言うなら、一時停止違反が2回。でも、これって運が悪いのですよね。

半世紀以上、私の足として運転してきた車ですが、最近のニーズにあるように高齢者の交通事故。他人ごとではないように感じます。どこかで決断をするべきなのでしょうか。

今の車の車検が二ヶ月後、来年の自分の年齢も考えます。子供たちも心配しています。

決めたっ！ 免許証返納!!

で、後、どうするのか？

電動の「セニアカー」というものがありました。もちろん車とは比べるべくもありませんが、これまでの行動範囲は自由に行けますし、空を見て風を感じてほかの人との距離感も近くて、これはこれで楽しいものです。人はだれでも年老いていくも

の、その歳、その歳にあつた生き方をするのが大事なのかもしれません。

これからは時速6kmの愛車とともに、スローでのんびりとした毎日を過ごしていこうと思っています。



新しい愛車

ボランティア活動

広中 義信



私の人生の中で、ボランティアは生きがいとなっています。現在、自治会のクリーンリーダーを十年、秋月小・中学校地域の清掃ボランティアを七年。その他、秋月地区コミュニティ役員を十六年、陸上競技審判員の競技役員を四十八年、12月の防

府マラソンも陰で支えています。シルバーの就業で動物園での駐車場整理にも生きがいを感じています。六月に環境衛生の善行者表彰を頂きました。

これからも、社会に恩返しを続けていきたいと思っています。

※秋月中学校の石田 絢花里さんが、NHK杯全国中学校放送コンテストのアナウンス部門に次のような原稿でエントリーし、全国大会に出場されました。

秋月中学校の自慢の一つに、立派な桜並木があります。このいつも私たちを見守ってくれている桜並木が美しく保たれている陰には、一人の男性の存在があります。

広中さんは長年、毎日、学校の掃除をしてくださっています。桜並木の落ち葉や散った花びらが常に掃き清められているのは、広中さんのおかげです。時には、私たちが登校する前から、時には、私たちの下校後に自転車のライトを頼りにほうぎを手に活動されています。

「きれいな環境にいるときれいな感性が持てる」これは、広中さんの言葉です。私は、この言葉を聞いて感動しました。桜並木だけでなく私たちの感性も美しくしてください。

これから、私は桜並木を通るたびに心を磨いていくことでしょう。そして、広中さんが育ててくれたきれいな感性を根っこにし、私の中の桜の木に美しい花を咲かせていきたいと思っています。

みんな

フレイル・認知症予防 でガンバッテいます 安達 嘉次



最近では体力の衰えを感じるように...特に記憶力の方は、悲しいかなどうしようもありません。そんな状況の中、民生委員をしているときに「みんなが集まる所がない。話をすることがない。」など、たくさんさんの悩みごとを聞きました。

そこで一人暮らしの高齢者の方を対象に「いきいきサロン遊友会」を立ち上げてから18年、集まりも300回近く、メンバーも30人くらいになりました。今はシルバー会員の武田幸恵さんたちの応援も受け、月に2回、旧櫛ヶ浜公民館を会場に、色々な体操、ゲーム、脳トレなどで楽しいひと時を過ごしています。四季折々、花見やホタル鑑賞、日帰り温泉、食事会、誕生会などの行事を行っています。みんなが喋る！笑う！！が最大のモットーです。

現在は、コロナ禍のため、控えめに皆さんと楽しんでいきます。皆様もどうですか。



今日もよくしゃべり、よく笑った

月あかり 椋木 幸子



息子が40歳を過ぎた数年前から、私の父のことを話しておきたいと思うようになった。息子が生まれる3カ月前に父は旅立った。父のどの場面にしようかと考えていた時、コロナ禍の自粛生活が始まった。父が好きだった春日八郎のCDを買った。たくさんさんのヒット曲の中から「山の吊橋」の歌詞

に「月をたよりに」の言葉を聴いて「これだ」と決めた。私が小学校の頃、父は漁船に乗っていた。当時、この仕事に就いていた人には珍しく、父は酒、たばこ、パチンコに縁の無い人だった。ある冬の夜、仕事が終わり飲み会があった。泥酔する人も出て、父は魚市場のトク箱を載せるリヤカーを借りて乗せ、家まで送った。凍夜の道に外灯はなく、月あかりを頼りに引いていた。その住所を聞くといけないような距離だった。家まで母が心配して待っていた。父に何かあったら路頭に迷う家だった。父が家に入った途端、母は大声で父をなじった。同僚の世話をし、大変な思いをしてやっと帰ればこの有様。お人よしの父と、母はよくいさかいをした。父は貨物船に移り定年を迎えた。年金の手続きを終えて安らぐうちに病に襲われた。「年金もろたら温泉に行きたいのお」はかなわなかった。一張羅も持たず働いた父。今夜も凍月が海を白く照らしている。お父さん、生きてる限り、感謝だよ。

第3回 衛生委員会 健診を受けましょう!

働く人の健康を守る当センターの「衛生委員会」。11月11日に開催された第3回のテーマは「健康だより」と「健康チェック表」。

新型コロナウイルスの影響で活動が制限され、体力が落ちた、とかストレスを感じる、という人も多いのではないのでしょうか。

新年を迎え、健康な一年になるよう「健康だより」に掲載している「心と身体の健康を維持するためのあかさたな」を意識してお過ごしください。

健康維持には自身の健康状態を知ることが大切。派遣会員の約7割が健康診断受診済ですが、今年度もぜひ受診して、健診後は生活改善のための保健指導やかかりつけ医の指導を受け、より健康な生活を心がけましょう。



事務局短信

TANSHIN

配分金等(配分金+交通費)の確定申告について

シルバー人材センター会員の配分金については、交通費を含めた額が所得税法上雑所得となります。この配分金等は、他の所得とは別にして原則55万円まで控除されます。

センターから会員の方に、令和4年分の配分金等支払証明書を1月中旬頃送付しますので、下記の「所得税の計算例」を参考にして、申告が必要な方は確定申告を行ってください。

(注) 配分金等と年金以外の収入(給与収入や農業収入など)がある方は、税務署にご相談ください。

所得税の計算例

○収入が配分金等のみの会員

$$〔\text{配分金等} - \text{配分金控除}(55\text{万円}) - \text{基礎控除}(48\text{万円}) - \text{その他の所得控除}〕 \times \text{所得税率} = \text{所得税額}$$

○収入が配分金等と公的年金のみの会員

$$\begin{aligned} &〔\text{①配分金等} - \text{配分金控除}(55\text{万円}) + \text{②公的年金} - \text{公的年金等控除} \\ &\quad - \text{基礎控除}(48\text{万円}) - \text{その他の所得控除}〕 \times \text{所得税率} = \text{所得税額} \end{aligned}$$

※②の金額が400万円以下で、かつ①の金額が20万円以下の場合は税務署への確定申告は不要です。(市町村への申告は必要です。) なお、所得税の還付を受けるための申告書の提出は、税務署へ提出することができます。

街角スケッチ



おみくじ発祥の地、二所山田神社 (鹿野)



おみくじロード (鹿野サービスエリア)

お知らせ

安全推進大会の案内

日時 令和5年2月24日(金)

10時～

場所 周南地域地場産業振興センター

内容 講演 交通事故防止他
参加の方は事務局へご連絡ください。

定時総会での展示作品の募集

○作品の種類

絵画・書・写真・ちぎり絵・陶芸・彫刻・手芸品・竹細工
盆栽・魚拓など

*お一人、3点以内で。

○申し込みは、4月号でお知らせいたします。

○注意事項 当日の展示作品の売買は禁止、及び損傷の責任は負いかねます。

編集後記

今年の目標「和顔施」の実践(笑顔を施すことが徳になる) 優しい笑顔で接していきたい。(鶴原)

外に向かってピョンと跳ねて、沢山の人と出逢い、色んな話を聞きたい！今年は (藤本)

何回目かの年男ですが飛躍の年にするには体型的に手遅れかも。ともあれ頑張ろう。(宮川)

ぴよんぴよんと、ひと山ふた山跳び越えて、いったいどこまで行くのやら： (山本)

お正月の縄飾りは「わらわら(藁)と喜こんぶで(昆布)神(紙)を待つ(松)」ごろ合わせの意味を込めて、今年も良い年であります様に (和田)